

## メキシコ・チアパス大地大学の理念と実態

—2010年9月現地調査の結果から—

中 沢 知 史

### はじめに

チアパス大地大学（Centro Indígena de Capacitación Integral / Universidad de la Tierra-Chiapas, A.C.）は、メキシコ、チアパス州の古都サンクリストバル・デ・ラス・カサス市（以下「サンクリストバル市」）にある、先住民のための技術研修・職業訓練施設である。メキシコ政府の認可を受けた学校ではなく、法律上の地位は、名称末尾に付くA.C.の略号が示す通り、法人格を持つ市民団体Asociación Civilである。メステイソのメキシコ人ライムンド・サンチェス=バラサ（Raymundo Sánchez Barraza）によって1989年8月24日に創設された [FRAYBA 2010]。

これまでのところ、チアパス大地大学はごく断片的にしか知られていない<sup>1)</sup>。管見のかぎりでは、創設以来、活動全体の調整役、渉外役coordinador generalを務めているサンチェス=バラサに対し、米国のオンライン雑誌*In Motion Magazine*の編集主幹ニック・バジェット=クラーク（Nic Paget-Clarke）が行ったインタビュー [Paget-Clarke 2005] が最も詳しい。しかしながら、インタビューが行われた2005年9月3日以降、今日までの歩みには、依然として不明な点が多い。

筆者は、2010年9月3日より24日までサンクリストバル市に滞在し、その間、チアパス大地大学を6回訪問して活動を観察した。また、サンチェス=バラサと、活動に参加している人々3名に聞き取りを行った<sup>2)</sup>。本稿は、筆者が現地で行った観察と聞き取りの結果を報告し、チアパス大地大学とはいかなる施設か、明らかにすることを目的とする。以下、第I節ではチアパス大地大学の活動理念を、第II節では施設の概要を、第III節では研修の実態を、それぞれ紹介する。

### I. チアパス大地大学の活動理念

#### I-1. 活動の基礎理念

チアパス大地大学における活動の基礎理念は、SIIDAE（Sistema Indígena-Intercultural De Aprendizajes y Estudios・先住民のための異文化学習・研究システム）である。チアパス大地大学は先住民のための研修施設ではあるが、多様な文化、人種、性、国籍に開かれている。チアパス大地大学の基礎理念は、先住民の文化と先住民でない者の文化—ラディーノであれ、メステイソであれ、白人であれ—との出会いと対話を促進することを目的としている。SIIDAEにおける学習過程は外に開かれ、集合的、水平的で、相互的である。いずれの文化、知識、宇宙観

にも優先順位は設けられない。人間の生み出した様々な知の交換を促すSIIDAEには、原理的には地球に存在する全ての文化、知識、宇宙観が参加できる。[ビジャセニョール=ガルシア 9月11日]

また、チアパス大地大学の理念構築にあたっては、サパティスタ民族解放軍（EZLN）による先住民自治の実践が大きな影響を与えている。チアパス大地大学は、チアパス州の市民社会に属する先住民支援施設として、EZLNを支持する立場をとる。[サンチェス=バラサ 9月7日]

### I-2. 活動の目的

チアパス大地大学は、先住民、特に先住民の若者に、日々生活していくうえで必要となるさまざまな技術を無償で提供し、学んだことを活かした職に就けるよう支援する。チアパス大地大学で行なわれる研修には、手仕事

### I-3. 活動の単位

手仕事と頭仕事を問わず、チアパス大地大学で行われる活動1つ1つが、「学びのコミュニティ una comunidad de aprendizajes」を成す。この、ある活動を行う人々の小さな集団が学習の単位であり、チアパス大地大学の実態は、「学びのコミュニティ」の集合体、すなわち「学びの諸コミュニティのコミュニティ comunidad de comunidades de aprendizajes」である。[ビジャセニョール=ガルシア 9月11日]

## II. 施設の概要

チアパス大地大学は、サンクリストバル市の郊外、市北西部に当たるヌエバ・マラビージャ地区のはずれに位置し、サンファン・チャムーラに通じる旧道に面している。敷地は面積約20平方キロメートルで [ディアス 9月4日]、南から北に向かって傾斜している。北側は林に覆われている。

チアパス大地大学では、約100人から120人の先住民が学んでおり、筆者が訪問した時点では、うち約80人が敷地の中で生活している [ハコボ 9月22日]。男女比はおおよそ3対1。敷地住み込み研修生の先住民の中には、EZLN自治区の出身者がいる [ビジャセニョール=ガルシア 9月11日]。

敷地内には大小さまざまな建物がおよそ20棟あるが、生活用に、宿舍<sup>3)</sup>、トイレ、シャワー（以上3設備は男女別々）、食堂、厨房、運動場、音楽室、図書室、保健室、教会がある。教会は2006年、自家発電装置の設置と同時に建立され、以来毎年9月15日、メキシコの独立記念日には、「光のみなもと記念祭 Aniversario Planta de Luz」が開かれ、カトリックのミサと、フィエスタが行われている [ディアス 9月16日]。

また、研修用に、大工工房、機械工房、自動車修理工房、手工芸工房、複数のセミナー室、講堂が設置されている。野菜畑や鶏舎、豚舎、養蜂場があり、食料の生産が可能であるが、敷

地内で暮らす全員の必要を満たすまでには至っていない [ハコボ 9月15日]。

コーディネータのサンチェス=バラサは、チアパス大地大学を可能な限り自給自足の施設にしたいと考えているが、現実にはメキシコ外の援助団体から資金面で支援を得ている。これまで、オランダ、カナダ、スペイン、米国の団体に資金援助を受けたことがある。2010年9月時点で、運営資金全体の60～65%をこれら外国からの資金援助に依存している。目標は、この依存率を40%にまで減らすことである。[サンチェス=バラサ 9月7日]

2011年には、有機物を利用して栄養剤や薬剤を生産する施設Centro de Producción Biotecnológicaが新たに設置される。2007年からチアパス大地大学の活動に参加しているイバン・ハコボは、ソノラ大学の修士課程で物理化学を専攻した知見を活かして、この施設の設置準備を進めている。すでに建物の工事や機材の搬入は終わっている。エビの殻やマンゴーの種、木ノ実など身近な有機物から栄養剤、薬剤を生産することに成功すれば、製品として売ることができる。フェアトレードを通じて外国とも取引し、運営資金を補填したいと考えている。[ハコボ 9月22日]

### Ⅲ. チアパス大地大学における研修の実態

第Ⅰ節で述べたように、チアパス大地大学における研修は手仕事と頭仕事に分かれる。本節では、筆者が参加した三つの頭仕事を、参加した日時の順に紹介する。

#### Ⅲ-1. 土曜セミナー (9月4日)

本セミナーは、月の第一土曜日の午前から午後、概ね午前10時より午後2時の間にかけ、さまざまな理論書の分析を目的として行われるものである [ディアス 9月4日]。

会場は、哲学・神学センター Centro Universitario de Filosofías y Teologías Contextualesという名称の建物内にあるセミナー室が使用される。同セミナー室は、研究・情報収集・文書作成センター Centro de Estudios, Información y Documentaciónと異文化研究センター Centro de Estudios sobre Interculturalidadという二つの名称を有する。

レンガ造りの同室には、入り口から向かって右奥に、2007年9月に死去した人類学者アンドレ・オウブリ(Andrés Aubry)に贈られた学位記が飾られている。学位記は2007年12月にチアパス大地大学で開かれた「第1回アンドレ・オウブリ記念国際コロキウムPrimer Coloquio Internacional In Memoriam Andrés Aubry」において、参加者全員の署名を得て故人に贈られたものであり、故人の、先住民解放への貢献を顕彰したものである [ディアス 9月4日]。セミナー室には木製の長机と椅子が部屋中央に口の字型に配置され、その周りを長椅子が囲む。およそ50名が着席できる。壁には本棚が配されている。

筆者が参加した9月4日(土)のセミナーは、イヴァン・イリイチの著作(Ivan Illich, *En el espejo del pasado: Conferencias y discursos. 1978-1990*) 輪読の最終回にあたり、男性の報告者1名によるハンドアウト1枚をもとにした発表が30～40分ほど、その後討論が1時間ほど続いた。10～15分ほどの休憩を挟み、再び報告者が、テキストを読んで気づいた点を報告し、再度討論が行われた。報告者は司会進行の役割も兼ねており、発言順の整理などをしていった。

### Ⅲ-2. ワークショップ「グローバル資本主義の危機—分析と討論」(9月15日～17日)

本ワークショップは、在サンクリストバル市の市民団体「共同体活動の経済および政治に関する研究センター Centro de Investigaciones Económicas y Políticas de Acción Comunitaria, A.C.」その他が主催者となって、米国の社会学者を招いてのメキシコ講演巡行の一環であった。前項で述べた土曜セミナー、また次項で述べる木曜セミナーとは異なり、チアパス大地大学が主催する研修ではない。

上記のような外部の個人や団体に対しチアパス大地大学は、集会のための会場を貸し出しており [ビジャセニョール=ガルシア 9月11日]、会場は講堂が主に使用されている。

### Ⅲ-3. 木曜セミナー (9月22日)

本セミナーは毎週木曜日の夕刻、概ね午後5時から9時にかけて行われる [サンチェス=バラサ 9月7日]。チアパス内外における様々な時事問題をテーマに、チアパスの先住民が置かれている政治状況を分析することを旨とする [ビジャセニョール=ガルシア 9月11日]。

会場は木曜セミナーと同じく、哲学・神学センター内セミナー室である。筆者が参加した9月22日の場合、司会進行役の男性1名が、サンチェス=バラサが選定したと推測されるテキストの要約とコメントを読み上げるところから始まった。続いて、先住民の若者2名が先住民語で報告した。女性1名がツェルタル語で、男性1名がツォツィル語での報告である。休憩ののち、参加者によるコメントと、全員での討議が行われた。

セミナーの中で議論されたテーマはおおよそ以下のようなものである。

- ・EZLNによる「別のキャンペーンLa Otra Campaña」(2006年)をいかに評価するか
- ・先住民アイデンティティの模索
- ・ブラジル大統領選挙に際して、ルーラ政権をどう捉えるか
- ・1960～70年代のメキシコにおけるゲリラ闘争の歴史
- ・アンドレ・オウブリのチアパス先住民への貢献
- ・チアパスの先住民共同体を不安定化 desestabilizaciónしようとする政治暴力にいかに対処するか

### おわりに

以上、本稿では、筆者の現地調査の結果にもとづいて、チアパス大地大学とはいかなる施設か、その一端を紹介してきた。

今後の課題は、本稿で採用した、観察と聞き取りという二つの研究方法と関わる。まず、研修のうち、頭仕事のみ観察して、手仕事を見ていない点である。チアパス大地大学における手仕事は多種多様であると推測されるが、今後、より具体的に記述していく必要がある。次に、実際に研修を受けている先住民、特に住み込みで学んでいる先住民の若者自身の声を聞き取れていない点である。サンチェス=バラサは、チアパス大地大学は先住民のための施設であるとともに、先住民によって運営されてもいると述べている [Paget-Clarke 2005] が、管理・運営面で先住民による自治がどの程度実践できているのか。

また、これら二つの課題を総じると、チアパス大地大学が提供している技術研修・職業訓練は、実際どの程度先住民の役に、とりわけ、EZLNが進める先住民自治運動の役に立っているのか、という問いに帰着する。チアパス大地大学は、2012年12月21日、再度姿を現わしたEZLNの、運動としての継続性とどのように関わっているのか。今後の課題としたい。

〈註〉

- 1) 創設者サンチェス=バラサの経歴についてはEscalona Victoria 2008, Sánchez Barraza 1995を、チアパス大地大学の資金源については、ビルバオ市議会ウェブサイトBibao.net 2004、資金援助プロジェクトの外部評価報告書López y Ruiz 2009を参照。
- 2) ギジェルモ・ビジャセニョール=ガルシア (Guillermo Villaseñor García)、イバン・ハコボ (Iván Jacobo)、カルメン・ディアス (Karmen Díaz)、の3名である。3名ともサンクリストバル市内に居住し活動に参加している。  
本文中で聞き取りデータを引用する際、対象者と聞き取りの日時をカッコ内に示す。「… [人名、日付]。』という表記は当該の一文が聞き取りにもとづくことを、「… [人名、日付]』という表記の場合は、段落全体が聞き取りにもとづいていることを示している。
- 3) EZLNの司令官らが自治区外で活動する必要がある場合、チアパス大地大学が宿舎を宿泊先として提供している。「別のキャンペーンLa Otra Campaña」(2006年)、「第1回アンドレ・オウブリ記念国際コロキウム」(2007年)、「第1回世界フェスティバル “決然たる憤怒” Digna Rabia」(2008-2009)といった、サパティスタが深く関わる大規模な集会はいずれも、チアパス大地大学が会場や宿泊先を提供している。[ビジャセニョール=ガルシア 9月11日]

〈参考文献〉

- Escalona Victoria, José Luis. 2008. *Convivencia y separación*, (San Cristóbal de las Casas: CIESAS Sureste).
- Sánchez Barraza, Raymundo.1995. “Democracia y autonomía.” en Pablo González Casanova y Arturo Lomeli González (coords.) *Etnicidad, democracia y autonomía: Memoria del ciclo de conferencias efectuado en la ciudad de San Cristóbal de Las Casas, Chiapas, del 25 al 27 de enero, 1995*, pp.87-99 (San Cristóbal de Las Casas: UNAM; Centro de Investigaciones Humanísticas de Mesoamérica y el Estado de Chiapas).

〈インターネット資料〉

- Bilbao.net 2004. “Ayudas financieras para proyectos de cooperación al desarrollo 2004”,  
[http://www.bilbao.net/cs/Satellite?c=BIO\\_Generico\\_FA&cid=3006734997&language=es&pageid=3000061764&pagename=Bilbaonet%2FBIO\\_Generico\\_FA%2FBIO\\_Generico](http://www.bilbao.net/cs/Satellite?c=BIO_Generico_FA&cid=3006734997&language=es&pageid=3000061764&pagename=Bilbaonet%2FBIO_Generico_FA%2FBIO_Generico)  
2013年2月5日最終閲覧。以下ウェブサイトの最終閲覧日は同じ。
- FRAYBA(Centro de Derechos Humanos Fray Bartolomé de Las Casas バルトロメ・デ・ラス=カサス師人権センター)。2010. “Hostiga la CFE al Cideci-Unitierra Chiapas,” *Boletín de prensa*,

no.20, 15 de octubre, San Cristóbal de Las Casas: CDHFBC.

[http://www.frayba.org.mx/archivo/boletines/101015\\_20\\_hostigamiento\\_cideci.pdf](http://www.frayba.org.mx/archivo/boletines/101015_20_hostigamiento_cideci.pdf)

López, Leire y Lidia Ruiz. 2009. *Informe Final Evaluación "Fortalecimiento del Sistema Indígena Intercultural de Educación No-Formal"*, Evaluación "Proyecto Chiapas" Ayuntamiento de Bilbao-Paz y Solidaridad, 2007.

[http://www.bilbao.net/castella/cooperacion/publicaciones/chiapas2/2009\\_chiapas\\_informe.pdf](http://www.bilbao.net/castella/cooperacion/publicaciones/chiapas2/2009_chiapas_informe.pdf)

Paget-Clarke, Nic. 2005. "Entrevista con Raymundo Sánchez Barraza: Una universidad sin zapatos" en *In Motion Magazine*, December, 2005.

[http://www.inmotionmagazine.com/global/rsb\\_int\\_esp.html](http://www.inmotionmagazine.com/global/rsb_int_esp.html)

(なかざわ ともふみ 本講座受講生、早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程在籍)